

専門学校 仙台総合医療大学校 令和 8 年度学校関係者評価委員会 報告

令和 6 年 4 月に新しく開設した言語聴覚科も、令和 8 年 4 月 1 日より全学年がそろい、医療専門職の育成に努めております。また、昨年度末にこども科においては全卒業生を輩出し令和 8 年 4 月 1 日より休科となっております。

本校規定に基づき、令和 8 年 6 月 15 日に学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、以下の通りご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

1. 日 時 令和 8 年 6 月 15 日（月）15:00～16:00
2. 場 所 専門学校 仙台総合医療大学校
3. 出席者

【令和 8 年度 学校関係者評価委員】

	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	曾矢 猛美 先生	曾矢矯正歯科クリニック 院長	歯科衛生科
2	千葉 亨 先生	株式会社いちにいさん 紫山いちにいさん保育園 園長	地域住民
3	遠藤 知恵 先生	社会医療法人康陽会 中嶋病院 リハビリテーション部 課長	理学療法科
4	中塩 加久子 先生	宮城厚生協会 長町病院 副事務長	作業療法科 (Zoom 参加)
5	佐藤 嶺 先生	医療法人社団 松田病院	言語聴覚科

【学校教職員】

校長：眞柳 秀昭 副校長：横山 さゆり 教頭：吉田 望
理学療法科学科長：山田 剛 歯科衛生科学科長：永沼 由香
言語聴覚科学科長：小坂井 秀行 作業療法科教員：相澤 祐一
事務局：眞柳 みゆき

4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 開会挨拶 校 長 眞柳 秀昭
- (3) 議長選出 議 長 千葉 亨
- (4) 令和 7 年度自己評価報告 副校長 横山 さゆり

- | | |
|-------------|-----------|
| (5) 討議・意見交換 | 各委員 |
| (6) その他 | |
| (7) 閉会挨拶 | 校 長 眞柳 秀昭 |
| (8) 閉会 | |

5. 令和7年度自己評価結果に対するご意見

(1) 教育理念・目標

3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を掲げ、教育理念・目標が明確化されていること、また、それを達成するための1つにステップとして他職種連携授業をしていること等が委員の先生からも評価され、問題はないということと了承を得た。

(2) 学校運営

新学生管理システムの導入をした。このシステム導入により効率化された点や、教員負担は軽減されたのかどうかについて質問があった。これに対し、学生の出席・成績管理の効率化が図られたことが大きく、また、学生ポータルの導入・就職情報管理等も本システムにまとめる等のシステムの拡張性があることについても回答があった。

(3) 教育活動

各科指定規則に則ったカリキュラムを制定しているが、時代や社会のニーズに鑑み、カリキュラム構成の変更を検討する必要があるが昨年度は未改定のままである。また、授業評価は学科ごとで統一されておらず改善が必要だと考えられる。これに対して、非常勤・常勤教員について指導力向上の一助になる可能性も高いため、学生が簡単にできるフォーム形式等を利用して授業評価を行うと良いのではないかという提案があった。今後取り入れていきたいとの回答があった。

(4) 学習成果

理学療法科・作業療法科・歯科衛生科の3科すべてが令和7年度国家試験合格率100%を達成できたことは学習成果の表れと言える。100%達成するために取り組んでいることはという質問があり、それに対しては早期より意識付けを行い、また、最終学年時に対策の時間を十分にとり丁寧に教えているとの回答があった。退学率は令和6年度と比較して0.7%改善したものの、学園目標値（5%）をクリアできなかったことについて説明があった。退学理由としてどんなものがあったのかとの質問がでた。これに対しては、成績不振や進路変更が多いという回答があった。引き続き、基礎学力アップに力を入れたり面談等でフォローをしたりすることで、退学者の減少に努めると回答があり理解を得られた。

(5) 学生支援

卒業生への支援体制について、同窓会発足式を行った。学生の健康・心理面の相談については、

看護師資格をもつ職員が随時行っている。課外活動についてご質問があったが、本学では授業・実習との兼ね合いで行われていないことを回答し理解を得られた。

(6) 教育環境

校内のネット環境が弱く、学生からも無料 Wi-Fi の設置を希望されている。次年度に向けて強化する方向であると説明をして理解を得た。また、学外で行う臨床実習に関しては、指導者会議・巡回訪問などの体制を整備しており、実習先の先生方とも良好な関係にて進めていることを説明した。

(7) 学生募集

R7 年度の学生募集は定員未充足の学科があるが、広報活動は積極的に行っていることを説明し理解を得た。

(8) 財務

学園の HP 上で財務情報を公開している。事業収入は微増しており、学園全体は黒字であることを説明した。

(9) 法令遵守

本校の教育は厚生労働省の養成課程であり、法令・設置基準の遵守と適正な運営を行っている。また、自己評価結果はホームページ上で公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

昨年度は、マイナビ仙台レディースと連携契約を締結したり、医療系研修会の会場として施設提供を行ったりした。また、学生のハローフロスプロジェクトへの参加、宮城大学・JCHO 仙台病院との連携イベントにボランティア参加をした。これらの取組を高く評価していただいた。夏祭りや秋祭り等のイベント参加を通して地域連携をさらに強化するようにご助言いただいた。

以上のようなご意見等を頂き、議長による採決の結果、問題なく自己評価が行われたと承認を得た。

6. その他

R8 年 4 月学校教育法の一部改正が行われた。単位制学年制となる。

今年度は教職員の研修を強化していく

以上